

「生命の科学」第3課 宇宙の法則の応用

神はあなたの体験に対して責任はない。

「善」と云うものに向けられている「宇宙の法則」の誤用は無知で粗野な行為者の自分の責任である。

TV受像機は電気と電波が必要です。

又、電波の吸入と放出が必要です。

人間も生命の呼吸が必要です。

万物は空気に依存しています。

自然界では万物が調和し、融合しています。

人間は感覚器官（四感：視覚・聴覚・嗅覚・味覚）を統合しなければなりません。

四感の統合はバイオリンの調弦に例えます。

各弦（四感）を調弦（統合）すればマインドは美しいメロディーを奏でます。

美しいメロディーとはマインドの意志の代わりに意識の意志（神の意志）によって感受する「印象」です。

自然界の万物は「宇宙の法則」からなる「意志」に導かれています。

自然界は宇宙の法則（創造主）の意志に役立っているのです。

人間は自然界の万物を見習わなくてはなりません。

創造主（意識）に従わなければなりません。

イエスの言葉

『我々は生ける神の宮だ』

「人間自身」が「生ける意識の現われ」そのものです。

意識は恐怖を知りません。

意識はあらゆる知識を所有しています。

真のあなたに気付く様になることです。

神すなわち創造主である永遠の部分に気付く様になることです。

あなたが何を行うにしても、あなたのマインドが指導者としての「意識」を知覚する様にすることです。

『自分自身を知れ。そうすれば全てがわかるだろう』
マインドは常に「意識」を「信頼」することを学ばなくてはなりません。

法則の両面を用いなければなりません。

良い結果を生み出します。

一方だけを選択し、他方を除外すると好ましい結果は望めません。

客観・主観

消極性・積極性

男性・女性

プラス・マイナス

スペース・ブラザーズは万物を観察するとき、人間であれ他の表現であれ、フォームの外見だけを観察しているのではなく、フォームを支えている「意識」を見ているのです。

マインドの意志ではなく「神の意志」で見るとき、フォームを通して創造主の表現したものを見ることになるのです。

創造物の様々な状態を学ぶことは人間に与えられた義務であり、学ぶことによって創造物の存在する理由を知る場合があります。

生命の目的を詳細に研究することによって、批判は理解へと変化します。

なぜなら、最高の表現体としての人間は創造主と一体化するからです。

そして、人間の英知も創造主の英知と同じレベルに達します。

レベルが低いとされるフォームでさえも、自然界の指令のもとで自動的に活動しています。これは、創造主の直接の導きによるとも言えます。

意識こそ指導者であり万物の生命なのです。

人間が救われるには自然界の指令のもとへ戻る以外方法はありません。

いかに多くを学び年齢を重ねても、人間が自然界から独立することは不可能です。

従って、自己の知識を評価するには自然界においてなされるべきです。

リンゴ等の果実が如何にして花から実を結ぶのか正確に答える事の出来る人はいません。

これは、人間の知性が如何に高いとは云え、自然界の中に表現されるもの、すなわち創造主の表現したものには及ばないことを表しています。

ルーサー・バーバンクはこれを的確に表現しています。

「植物の成長を如何に向上させるか、その知識を与えてくれたのは自然界である。創造主と共に働くことで創造物を通して創造主に直面した。」と述べています。

意識を、より気付くことがマインドに知恵の宝庫の扉を開かせる為の鍵となり、創造主とその創造物を結ぶ経路となります。(印象やテレパシー能力を含む)

金星の人々は自然界に逆らわず、自然界の法則を理解し自然と融合しています。

“創造主は創造主自身よりも劣るものは何一つ創造することは無い”と云う信念を彼等は持っています。そして、万物に対するこのフィーリングによってあらゆる場所に現れている神性を見ます。

ルーサー・バーバンクが述べた様に、金星の人々も創造主と直面し、互いに奉仕し合っているあらゆる現象の相互関係と目的を学び、それによって創造主に奉仕しているのです。

今までエゴのマインドに与えていた認識する役割を意識に与えるのです。

行為や言葉の内奥に必ず存在する不可視の英知に気付きなさい。

これによって、最終的にあなたは英知の存在を自動的に認識出来る様になります。

あなたが、より広く生命界を楽しみ理解し始めると進歩していることが分かります。

すると、アイデアや考えが以前より早く湧く様になります。

より良質な音楽に心を向ける様に、より優れた生命の特質を表しているものにあなたのマインドを留める様にしなさい。

日々これを行えば必ずあなたは進歩します。

以上：第3課の抜粋